

第2回 大野町小中学校のあり方外部検討委員会 議事概要

- 1 日時 : 令和5年2月24日(金) 午前10時00分～午前11時30分
- 2 場所 : 大野町役場3階 委員会室
- 3 出席委員 : 学識経験者1名、有識者1名、保護者代表1名、地域代表3名、子ども園代表1名

4 議事の概要

○協議事項(1) 学校規模適正化についてのアンケートの結果について

- ・事務局より、学校規模適正化についてのアンケートの結果について説明した。
- ・回答率から関心の高さを感じた。
- ・将来的に学校規模適正化は必要だと感じていると伺えるが、その時期には差があるように見受けられる。近い将来に向けて今、検討しておく必要がある。
- ・保護者などの不安が先行しないよう、アンケート結果など検討過程の情報提供を適切に実施する必要がある。

【質疑応答】

- ・児童生徒数が減れば教員も減る。教員の負担が大きいと教育環境に影響すると感じた。
- ・未就学児保護者などの回答数から、関心の高さがうかがえた。
- ・規模適正化の必要性は感じられるが、その時期についてはだいぶ先と感じている人もみえられる。
- ・出生数から6年後には状況が変わるので今、検討しておく必要がある。情報提供も必要。

○協議事項(2) 小中学校に係る維持管理経費について

- ・事務局より、小中学校に係る維持管理経費について説明した。

【質疑応答】

(特になし)

○協議事項(3) 小中学校施設の状況について

- ・事務局より、小中学校施設の状況について説明した。

【質疑応答】

- ・学校の耐用年数はどれぐらいか。
⇒減価償却では47年とされているが、文科省は適切な維持管理や長寿命化対策を施されている場合には70年～80年程度の利用も可能としているが、明確な基準はない。(事務局)
- ・学校の体育館を利用している団体がいる。今後の検討の中で、体育館利用者の意見も聞いていただきたい。
⇒体育館は避難場所でもあるので、地域住民が利用しているという実態を踏まえ、検討を進めていきたい。(事務局)

○協議事項（４）大野町の学校変遷状況について

- ・事務局より、大野町の学校変遷状況について説明した。

【質疑応答】

- ・仮に統廃合をする場合に、現行の施設を利用することは可能か。
⇒過去の児童生徒数より、収容できる人数が想定できる。現行施設を利用した統合は可能と考える。ただし、老朽化等を踏まえて検討する必要がある。（事務局）

○その他

- ・令和5年度にタウンミーティング、シンポジウムの実施を計画している。
- ・来年度も引き続き、4回程度の検討委員会を実施する予定である。

【委員意見】

- ・小学校は統廃合されるのか、通学距離がどうなるのか、などの声を聞く。保護者などが不安にならないよう適切な情報提供が必要。
- ・児童・生徒だけでなく、施設利用やPTAなど地域のありかたについても検討していく必要があると考える。
⇒委員会として町全体の方向性を出し、詳細は今後の検討で決めていく。（事務局）

以 上